

令和4年度第17回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和5年3月23日(木) 午前9時03分～午前10時20分
2. 会場 教育委員会会議室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 学校教育課長 須藤友章
職務代理者 馬場千晶 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 加藤洋之 坂本英樹
委員 山田敦久 社会教育課長 武山鉄也
委員 多田千鶴

4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

1 教育長挨拶

昨日は、3名の卒業生が4名の在校生に見送られながら、九十九大学の卒業式が挙行された。全体的に運営上の反省点が多い式となった。特に送辞と答辞は、今回が最後となるので、やるべきであった。委員の皆さんに参列いただき感謝する。

本日は、市職員の人事異動に関わる件が議題となっており、主要ポストで経験豊かな職員の転出もあるが、前向きに捉えてもらいたいと考えている。

部活動の地域移行については、議会答弁でも申し上げたとおり、協議会の設立に向けて、まずは準備会を設置する。校長会、市PTA連合会、スポーツ協会、文化協会などにお集まりいただき、今後の体制などについて協議していく考えである。委員の皆さんには、節目ごとに報告・相談させていただきたい。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第50号 「令和5年度地域コーディネーターの選任(委嘱)」について説明を求める。

○武山課長

コーディネーターの業務は、地域と学校の両方に精通している方をお願いしている。今回は1名が退任し、新しい方になったが、2名は継続である。他の地区については、コーディネーターを地域の方に担っていただくことが難しいため、人事異動後に市職員から選任する。なお、役職名については、社会教育法で規定しているが再検討したい。

○中峰教育長

CSについての理解は広がっているが、一方で、地域学校協働活動推進員という呼称は、多くの方に理解されているのだろうか。

○加藤委員

コロナ禍の下、その影響もあり、コミュニティスクールとして活発に活動することができていない。保護者の中にも理解できていない人がいる。今後、浸透していくことを期待する。

○中峰教育長

CS活動では、登下校時の見守り活動や全国体力テストの際のお手伝いなど、協力をいただいている。

広く理解していただけるよう取組む必要がある。

○中峰教育長

議案第 51 号 「修学旅行の引率業務等に従事する士別市学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領」について説明を求める。

○須藤課長

修学旅行のほか、運動会や学校祭など教職員が通常の日課と違う勤務となる場合に、予め校長が勤務時間を割振り、勤務時間を平準化するなどしている。今回、北海道の要領に、割振りの対象となる業務として、指導要録の作成業務・学期末の評価業務が追加されたことから、本市の要領についても同様に改正するものである。

○中峰教育長

タイトルにある修学旅行がメインであるが、他にも様々な特殊業務があつて、休み（勤務を要しない日）の本来の趣旨からは、夏休みなどにまとめ取りすることでいいのかとの考えもある。ただ、本市だけでなく、全道一律の取り扱いである。

3 その他

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○中峰教育長

入学式については、入場者の人数を制限しないほか、基本的にマスクの着用は求めない。また、呼びかけや合唱なども身体的距離を確保することにより、マスクの着用は不要となる。4月以降の取り扱いにあつても、引続き健康観察を行うこととするほか、「三つの密」の回避や「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」に努め、効果的な「換気」に努めることとされている。なお、これまで「修学旅行や入学試験」など限定的だった濃厚接触者になった場合の自宅待機期間の短縮については、薬事承認されたキットを使用した場合は、理由に関係なく対象とされる。また、あらためて給食時の黙食は求めないことが示されている。

○多田委員

士別小学校の卒業式では、子どもたち自身がマスクを着用するか決めていた。外している子は数人しか確認できなかった。

○中峰教育長

最後に、議案第 52 号 「令和 5 年度士別市教育委員会の人事異動」について説明する。

午前 9 時 57 分 秘密会を宣する

午前 10 時 20 分 秘密会を解く

午前 10 時 20 分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章